

会社の概要 (平成30年9月30日現在)

商号 日本山村硝子株式会社(Nihon Yamamura Glass Co.,Ltd.)
 本社所在地 関西本社 兵庫県尼崎市西向島町15-1 電話 06-4300-6000(代表)
 東京本社 東京都新宿区西新宿6-14-1 電話 03-3349-7200(代表)
 新宿グリーンタワービル20階
 創業 大正3年4月5日
 設立 昭和16年12月11日
 資本金 140億7,496万5,448円
 従業員数 841名
 上場証券取引所 東京証券取引所(市場第一部)
 会計監査人 有限責任 あずさ監査法人

大株主の状況

株主名	所有株式数	所有株式比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	10,750千株	10.24%
日本山村硝子取引先持株会	4,576	4.36
株式会社三井住友銀行	4,252	4.05
AGC株式会社	3,836	3.66
クリアストリーム パンキング エス エー	3,250	3.10
山村幸治	3,049	2.91
株式会社三菱UFJ銀行	2,962	2.82
三菱UFJ信託銀行株式会社	2,944	2.81
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	2,942	2.80
クレディスイス ルクセンブルグ エヌイー カスタマーアベツツ アフズ ユーシツツ	2,900	2.76

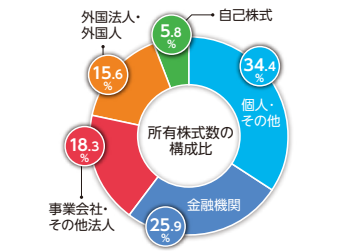
(注)1.当社は、平成30年9月30日現在、自己株式6,509千株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
 2.持株比率は自己株式を控除して計算しております。
 3.日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社、日本マスタートラスト信託銀行株式会社の持株数には、信託業務に係る持株数が含まれております。
 4.所有株式数は表示単位で切り捨てて表示しております。
 5.平成30年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っておりますが、上記所有株式数については、当該株式併合前の所有株式数を記載しております。

株式の状況 (平成30年9月30日現在)

発行可能株式総数	300,000千株
発行済株式の総数	111,452千株
株主数	8,423名
単元株式数	1,000株

所有者別株式分布状況

	株主数	所有株式数
個人・その他	8,051名	38,333千株
金融機関	29	28,823
事業会社・その他法人	254	20,414
外国法人・外国人	88	17,371
自己株式	1	6,509
合計	8,423名	111,452千株



役員 (平成30年9月30日現在)

- 取締役(監査等委員である取締役を除く。)
 代表取締役社長執行役員 山村 幸治
 常務取締役 上高 雄樹
 常務執行役員 サミツル山村パッケージング社駐在(同社取締役副社長)
 取締役常務執行役員 小林 史吉
 環境室 コーポレート本部 研究開発センターおよびニューガラスカンパニー管理
 取締役執行役員 明神 裕
 ガラスびんカンパニー社長
 監査等委員である取締役
 取締役常勤監査等委員 谷上 嘉規
 取締役監査等委員(社外) 井上 善雄
 株式会社巴川製紙所代表取締役社長(独立役員)
 取締役監査等委員(社外) 高坂 佳郁子
 弁護士(独立役員)
 取締役監査等委員(社外) 泉 豊祿
 ハウスイテック株式会社代表取締役社長(独立役員)
 執行役員
 執行役員 鳥居 豊彦
 監査等委員会室長
 執行役員 井料田 保二
 コーポレート本部長
 執行役員 神田 信一
 ガラスびんカンパニー副社長 営業本部長
 執行役員 山村 景
 プラスチックカンパニー社長
 執行役員 田口 智之
 ニューガラスカンパニー社長
 執行役員 植田 光夫
 山行商庫株式会社代表取締役社長

証券コード(5210)

世界の YAMAMURAへ

心と技術を伝えたい

第90期
第2四半期

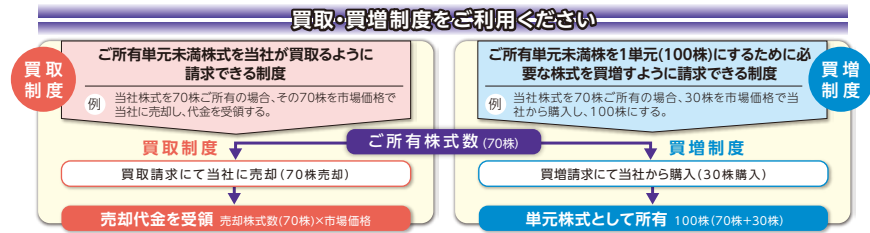
株主のみなさまへ

決算ご報告

平成30年4月1日▶平成30年9月30日

日本山村硝子株式会社
<http://www.yamamura.co.jp/>

中間配当に関する取締役会決議のお知らせにつきましては、
 当社ホームページにてご案内させていただいております。
 ご確認くださいようお願い申し上げます。



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領日	3月31日
中間配当金受領日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://yamamura.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)
 1.株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で行うこととなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
 なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式に関するお手続きについて

○特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
○特別口座から一般口座への振替請求 ○単元未満株式の買取(買増)請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法の指定(*)	特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿管理人 【手続書類のご請求方法】 ○インターネットによるダウンロード https://www.trmfuj.jp/daikou/

(*)特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

○証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
○上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

株主のみなさまへ

第2四半期決算ご報告および中間配当金関係書類送付ご案内

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
 さて、当社およびグループ各社(以下、当社グループと称します。)の第90期第2四半期累計期間(平成30年4月1日から平成30年9月30日まで)の事業の概況をここにご報告申し上げます。
 また、「第90期中間配当金のお支払い」に関する書類も同封させていただきます。
 ご査収くださいますようお願い申し上げます。

敬 具
 平成30年12月



代表取締役社長執行役員 山村幸治

中間配当金のお支払いについて
 中間配当金の払渡期間は平成30年12月3日(月)から平成31年1月4日(金)まででございます。同封の「中間配当金領収書」によりお支払いいたしますので、お近くのゆうちょ銀行全国本支店ならびに郵便局で、お忘れなくお受け取りくださいますようお願い申し上げます。
 なお、口座振込ご指定の方には、「中間配当金計算書」および「配当金振込先のご確認書」を同封しておりますので、ご指定口座への入金をご確認ください。

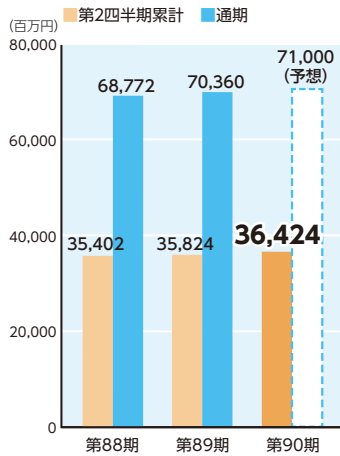


この決算ご報告はFSC®認証紙とベジタブルインキを使用して印刷しております。

連結業績ダイジェスト

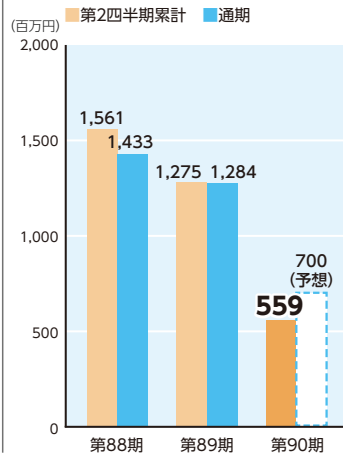
売上高
36,424百万円

ガラスびん関連事業では地震や台風等の天災の影響もあり国内ガラスびん業界全体の出荷量が減少する中、当社の出荷も減少しましたが、プラスチック容器関連事業では好天の影響等により飲料用キャップの出荷が増加したこと、物流関連事業では3PL(サードパーティーロジスティクス)事業を拡大したこと、ニューガラス関連事業では当社・子会社ともに出荷が堅調に推移したこと等により、売上高は36,424百万円(前年同期比1.7%増)となりました。



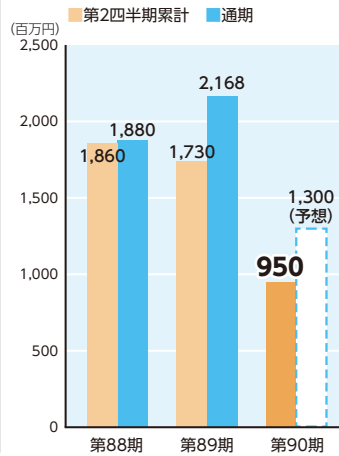
営業利益
559百万円

ニューガラス関連事業では増収による増益効果がありました。ガラスびん関連事業では海外子会社においてガラス溶解窯の更新による稼働率の低下に加え、品種構成や為替の影響による利益率の低下、環境規制強化に対応する費用の増加があり、国内子会社においてもガラス溶解窯の更新という減益要因がありました。さらに物流関連事業では労働力確保のための人件費の増加があり、営業利益は559百万円(前年同期比56.1%減)となりました。



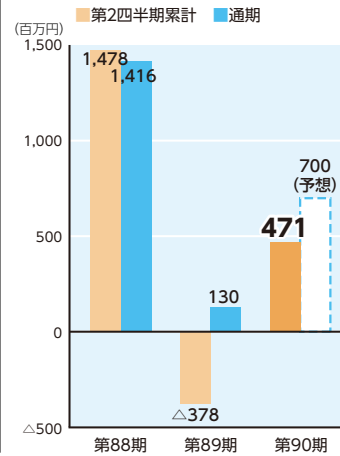
経常利益
950百万円

持分法による投資利益は624百万円(前年同期比2.7%減)と減益となり、経常利益は950百万円(前年同期比45.1%減)となりました。



**親会社株主に帰属する
四半期純利益**
471百万円

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期は特別損失にのれん償却額や支払補償金を計上したこともあり、471百万円(前年同期は△378百万円)となりました。

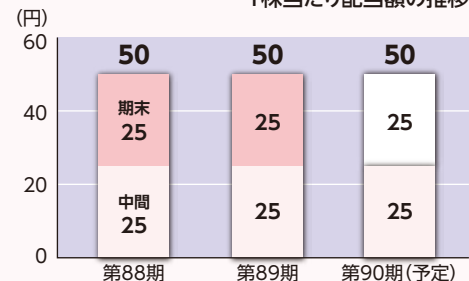


利益配分に関する基本方針および当期の配当

当社は、利益の配分につきましては、業績に応じた配当を継続的に行うことを基本に、海外への事業展開や成長事業への投資計画、財政状態等を総合的に勘案しながら、積極的に株主のみならずみなさまへの利益還元を努めていきたいと考えております。

これらの方針と業績を総合的に勘案し、中間配当金は1株につき2.5円といたします。期末配当金につきましては、平成30年10月1日を効力発生日として、10株を1株とする株式併合を実施しておりますので、1株につき25円とさせていただきます。

1株当たり配当額の推移



(注)平成30年10月1日付で普通株式10株を1株とする株式併合を行っており、株式併合前の配当金につきましても、遡って当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

株式会社ワイティエフ合弁契約調印式

7月13日、兵庫県西宮市にて、半導体向けをはじめとする機能性フィルターの製造および販売を手がける新しい合弁会社、株式会社ワイティエフの設立にかかる合弁事業契約書調印式が行われました。

さらに7月25日には会社が設立登記され、現在は引き続き



会社の立ち上げ作業と来年秋に計画の量産機稼働に向けた準備が急ピッチで進められています。

「きらきらベジ」一般販売開始

当社ブランドの野菜「きらきらベジ」を、6月1日より阪神百貨店梅田店様にて本格販売しています。百貨店のリニューアルオープンに合わせてのスタートです。8月からは同西宮店様でも販売を開始しました。

また、西宮店内にあるお惣菜「内野家」様では、サラダケールを使ったお惣菜も製造・販売されています。日替りのメニュー展開のほか、ケールの食べ方提案に取り組んでいます。

お惣菜は内野家えびす前店様、住吉店様でもお取り扱いいただいています。



台湾山村光學股份有限公司開業式

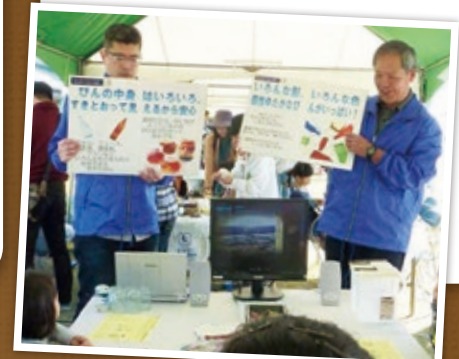
10月4日、台湾山村光學股份有限公司(YKO)の開業式が台湾・新竹の同社工場敷地にて行われました。同社は光通信市場向けレンズキャップの生産および販売を手がける新しい合弁会社です。

当日は開業式の後、会場を移して開業式宴も行われました。



尼崎の森中央緑地「郷土種グリーンフェスタ」開催

10月21日、尼崎の森中央緑地で「郷土種グリーンフェスタ」が開催され、当社はハーバリウム作り体験コーナーを出展しました。コーナーのはじめには、ガラスびんの3Rについて知ってもらう時間を設け、多くの子ども達やその保護者に対して、ガラスびんの魅力をアピールすることが出来ました。



ハーバリウム